

平成 23 年度第 3 回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

1 日時，会場

平成 24 年 2 月 1 日（水）18:30～20:40

宇品老人いこいの家（南区宇品御幸四丁目）

2 出席者

会長外 15 名出席

3 議事要旨

(1) 協議会の進行

平成 23 年度第 2 回協議会の議事概要の確認

地域振興策について

受入施設の整備（具体化の検討状況）について

場内水位のモニタリング状況について

周辺環境の調査結果について

(2) 発言要旨

【第 2 回協議会の議事概要の確認】

- ・廃棄物に砂やコンクリートを混ぜて投入すれば，地盤が早く固まるのではないかと。コンクリートを混ぜるというのはできないと思うが，跡地利用の観点からも安定化が早く進むように工夫はしていきたい。
- ・廃棄物を上からどんどん押し込んでいくと，中央部分は凹んでくるのではないかと。薄層散布で平らに撒いていくこととしている。
- ・埋立後のモニタリングについて，水位調査の項目が入っていない。埋立後廃止までの間は，埋立期間中と同じように調査する。

【地域振興策について】

- ・（会長）資料のとおりのお考え方や枠組みに沿って地域振興策を進めさせていただいてよろしいか。
（承認）

【受入施設等の整備（具体化の検討状況）について】

- ・台風時，台船故障時等に受入を確実にとめることができるよう，検討していただきたい。事故時等については，排出元に搬入しないよう指導する。管理体制についてはこれから詳細に検討し，結果は協議会で提示する。
- ・故障等で台船が使えない場合のために，直接投入など別の投入方法を用意しておくべき。また 場内運搬は 10t 車となっているが 4t 車など小回りの利く車両の使用も検討すべき。投入方法は，基本的に台船でと考えているが，検討していきたい。車両の大きさ等についても，検討していきたい。

- ・場内での誘導は、電光掲示板を利用すれば効率が良い。
誘導員をつけることは考えているが、具体的な誘導方法についてはこれから検討させていただきたい。
- ・場内ダンプは密閉性の高いものを使用するとのことだが、市中を走るダンプについての規制はどうなっているのか。
シート掛けを義務付けるとともに、飛散があるものについては水で湿らせるなど対策を行う。
- ・発電機・ウィンチの騒音が問題になった場合の対応はどうか。
自走式押船のエンジンよりは低騒音のため、今までの計画より環境負荷が増大することはないと考えているが、詳細についてはこれから検討する。
- ・トラック荷台の洗浄を運転手が行うのではなく、専用の人を置くということできないのか。
これから管理方式を検討していく中で考える。
- ・休日等に集塵機を停止させると、膨張した空気が建物外に出ていくのではないのか。
ルーフファンのフィルターを経由して出ることはある。

【場内水位のモニタリング状況について】

- ・水位が 50cm ほど上がっているというのはどういうことか。
護岸の閉切り後に降雨の関係で水位が上昇している。
- ・現在は管理水位 3 m より大体 50cm ぐらい低い状態ということか。
そのとおり。

【周辺環境の調査結果について】

(意見なし)

【その他】

- ・放射性物質に汚染された廃棄物の受入については、いずれ要請があれば検討する可能性があるのか。
県内の廃棄物を処理するための施設であるという大原則に変更はない。万が一そういうことを検討する必要が生じた場合は、検討を開始する前に皆さまに協議させていただく。
- ・津波に関する防災の基準が変わるという話を聞いたが、その内容と、出島処分場が基準を満たしているかを示してほしい。
国の予測値は 4 月ごろまでに出ると聞いている。国の発表を受けて、来年度に広島県の予測が行われるが、その結果が明らかになれば、出島処分場の安全性について検証し、この協議会で報告する。

担当事務局
広島県環境県民局産業廃棄物対策課
TEL : 082 - 513 - 2964 (ダイヤルイン)